

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 町民農園・体験農園 開設を	震災後、大多数の世帯が自立再建、災害公営住宅
	の戸建てや集合住宅に仮設住宅から移り住むことが
	出来ました。しかし心の悩みが完全に解決したわけ
	ではありません。新しい地域に移り住んで隣人との
	付き合いや地域の環境などに、新たなストレスが多
	い生活となっています。
	農業や緑とのふれあいは生活にやすらぎや潤いを
	もたらし、心身をリフレッシュさせてくれるそうで
	す。
	近年、全国的に市民農園や体験農園による農業体
	験に需要が高まっているようです。
	農園の開設者は市町村や農業協同組合、個人の農
	家で大部分は市町村だそうです。そこで伺います。
	(1) 高齢化による担い手不足で休耕田がありますが
	が、今後どのように考えていますか。
	(2) 清水公園エリアに貸出農園の開設の計画を取
	り入れてはどうですか。
	(3) 観光の水産（あがいんステーション）と農業
	の体験施設との一体感が生まれると思いますが
	いかがですか。
	(質問の相手：町長・担当課長)

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 新庁舎の省エネ対策は	新庁舎の完成は9月末と伺っていますが、その際
	省エネ対策はどのような工夫をされていますか。例
	えば誘導標識は365日通常電源が必要ですし、津波
	襲来時など電源が喪失したときは役割を果たしませ
	ん。今、全国的に普及してきているのが、有田焼の
	技術を応用した電力不要の蓄光式の誘導標識です。
	この際本町に於いても採用してみてもいいのではし
	うか。
	東京メトロの駅や八景島シーパラダイス、京都の
	醍醐寺などの観光地にも設置されています。
	光は一般的な物より明るく長時間光り、強度も高
	く建物が倒壊しても壊れにくく、火にも強いことか
	ら火災でも燃えない特徴を持っているそうです。
	蛍光灯の明かりで蓄光もできるそうです。検討の
	余地はあると思いますがいかがですか。
	(1) 新庁舎の省エネ対策はどのような工夫をされ
	ていますか。
	(2) 新庁舎をはじめ、合築する施設の誘導灯の設
	置はどのような種類ですか。
	(質問の相手：町長・担当課長)